

## 日本赤十字社神奈川県支部現勢

令和7年4月1日現在

日本赤十字社の使命		わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。		日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。	
1949年のジュネーブ四条約締結国 196カ国		赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性		世界の赤十字社・赤新月社等 191社	
区分 内容		日本赤十字社(全国)		神奈川県支部	
1 沿革		1877年(明治10年) 5月 1日 博愛社設立 1887年(明治20年) 5月 20日 日本赤十字社に改称 1952年(昭和27年) 8月 14日 日本赤十字社法制定		1887年(明治20年)12月 20日 日本赤十字社神奈川県支部設立 (当時は神奈川県委員部)	
2 名誉総裁・ 名誉副総裁		名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下			
3 会員 (令和7年3月31日現在)		個人 19.7 万人 法人 7.6 万法人		個人 1万1,578 人 法人 2,904 法人	
4 評議員		2,004 人		72 人	
5 代議員		223 人		6 人	
6 役員 (令和7年7月1日現在)		社長 清家 篤 (常勤) 副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 簡井 義信 (非常勤)  理事 61 人 監事 3 人		支部長 黒岩 祐治 (神奈川県知事) 副支部長 首藤 健治 (神奈川県副知事) 上野 孝 (県商工会議所連合会会頭) 監査委員 小久保 篤 (元神奈川新聞厚生文化事業団専務理事・事務局長) 吉川 伸治 (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構顧問) 茂木 吉晴 (元公益財団法人神奈川県産業振興センター理事長) 参与 川名 勝義 (神奈川県福祉子どもみらい局長) 佐藤 泰輔 (横浜市健康福祉局長) 石渡 一城 (川崎市健康福祉局長) 佐々木 純司 (相模原市健康福祉局長)	
7 国際活動		(1) 国際救援・開発要員派遣(令和5年度) 14 カ国 のべ 45 人 (2) 国際赤十字・赤新月社連盟出向 3 人 (スイス、マレーシア) (3) 国際活動費 68.6 億円		(1) 国際救援・開発要員等派遣 0 カ国 0 人 (2) 安否調査 0 カ国 0 件 (3) 国際交流 派遣: 0 カ国 0 人 受入: 0 カ国 0 人 オンライン: 1 カ国 24 人 (4) 海外救援金受付 572 件 3,816万0,673 円 (5) 国際救援・開発協力支出額 500 万円 (ラオス、バングラデシュ、ルワンダ)	
8 国内災害救護		(1) 常備救護班 490 班 6,226 人 (2) 無線局 3,089 局 (3) 救護車両 2,183 台 (4) 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 78 人 (5) 災害等における救護員出動数 905 人 (6) 取扱義援金 321億7,941万5,307 円 (7) 救護物資配分率(毛布・緊急セット等) 10,872 個		(1) 常備救護班 15 班 121 人 (2) 無線局 132 局 (3) 救護車両 71 台 (4) 赤十字防災セミナー 36回 1,523 人 (5) 火災・風水害・床上浸水援護世帯 284 世帯 (6) 取扱義援金 1億7,159万9,170 円 (7) 配布援護物資(毛布・タオル・石鹸等の日用品) 282 個	
9 救急法等講習		(1) 救急法基礎講習 受講者 39,373 人 (2) 救急法 指導員 7,001 人 受講者 331,455 人 (3) 水上安全法 指導員 1,488 人 受講者 50,846 人 (4) 雪上安全法 指導員 227 人 受講者 274 人 (5) 幼児安全法 指導員 2,270 人 受講者 63,679 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 1,701 人 受講者 50,397 人 計 指導員 12,687 人 受講者 536,024 人		(1) 救急法基礎講習 受講者 2,904 人 (2) 救急法 指導員 463 人 受講者 13,873 人 (3) 水上安全法 指導員 138 人 受講者 2,322 人 (4) 雪上安全法 指導員 15 人 受講者 0 人 (5) 健康生活支援講習 指導員 93 人 受講者 2,057 人 (6) 幼児安全法 指導員 126 人 受講者 2,109 人 計 指導員 835 人 受講者 23,265 人	
10 看護師等の教育		(1) 看護師 15 校 1,115 人 (2) 助産師 6 校 88 人 (3) 保健師 6 校 174 人 (4) 幹部看護師 1 校 120 人 (5) 介護福祉士 1 校 30 人		(1) 県内赤十字病院における奨学金貸与事業への助成 1,224 万円	
※一学年養成定員					

区分 内容	日本赤十字社(全国)		神奈川県支部	
11 医療事業  (※1)平成17年4月1日から 横浜市立みなと赤十字病院が 開院し横浜市が設置し、横浜 市の指定管理者として、日本赤 十字社が運営  (※2)平成22年4月1日から 相模原市の指定管理者とし て、相模原市立診療所(青野 原・千木良・藤野)を日本赤十字 社が運営。(平成22年3月31日 までは、3診療所は神奈川県 立)	(1) 施設 病院	90	(1) 横浜市立みなと赤十字病院(※1)	( 634 床、実働 634 床 )
	診療所	5	入院患者	188,658 人 (1日平均 517 人 )
	老人保健施設	4	外来患者	282,558 人 (1日平均 1,163 人 )
	介護医療院	5	病床利用率	81.5 %
	(2) 病床総数	34,083 床	(2) 秦野赤十字病院	( 308 床、実働 262 床 )
	(3) 入院患者	981 万人 (1日平均 2.7 万人)	入院患者	71,218 人 (1日平均 195 人 )
	(4) 外来患者	1,537 万人 (1日平均 6.3 万人)	外来患者	113,664 人 (1日平均 468 人 )
			病床利用率	74.5 %
			(3) 相模原赤十字病院	( 132 床、実働 132 床 )
			入院患者	35,349 人 (1日平均 97 人 )
			外来患者	80,995 人 (1日平均 301 人 )
			病床利用率	73.4 %
			診療所(青野原・千木良・藤野(※2))	
			外来患者	15,101 人 (1日平均 62 人 )
12 血液事業	(1) 血液センター	47	(1) 血液センター(神奈川県)	1
	附属施設	168	附属施設(湘南事業所)	1
	(2)ブロック血液センター	7	(2) 出張所(献血ルーム)	7
	附属施設・分室	4	(横浜駅東口、横浜駅西口第二、二俣川、川崎駅東口、溝の口、藤沢、海老名)	
	(3) 車両 移動採血車 275 台 献血運搬車 767 台		(3) 車両 移動採血車 11 台 献血運搬車 39 台	
	(4) 献血者数 成分献血 155 万人		(4) 採血本数 成分献血 116,595 人	
	400mL献血 331 万人		400mL献血 210,852 人	
	200mL献血 12 万人		200mL献血 10,605 人	
	計 499 万人		計 338,052 人	
	(5) 供給本数 輸血用製剤 1,737 万本		(5) 供給本数 赤血球製剤 224,250 本	
			血漿製剤 70,263 本	
			血小板製剤 53,686 本	
			計 348,199 本	
13 赤十字ボランティア (令和7年3月31日現在)	(1) 地域赤十字奉仕団 2,048 団 634,747 人		(1) 地域赤十字奉仕団 51 団 18,598 人	
	(2) 青年赤十字奉仕団 149 団 5,108 人		(2) 青年赤十字奉仕団 5 団 226 人	
	(3) 特殊赤十字奉仕団 603 団 26,853 人		(3) 特殊赤十字奉仕団 37 団 1,631 人	
	(4) 個人ボランティア 11,320 人		(4)防災ボランティア 361 人	
	計 2,800 団 678,028 人		計 93 団 20,816 人	
14 青少年赤十字 (令和7年3月31日現在)	(1) 幼稚園・保育所 1,778 校 133,361 人		(1) 幼稚園・保育園 6 園 604 人	
	(2) 小学校 6,956 校 1,868,411 人		(2) 小学校 21 校 5,395 人	
	(3) 中学校 3,441 校 936,117 人		(3) 中学校 35 校 9,276 人	
	(4) 高等学校 1,732 校 343,608 人		(4) 高等学校 44 校 13,198 人	
	(5) 特別支援学校 234 校 24,560 人		(5) 特別支援学校 8 校 1,156 人	
	(6) その他 163 校 39,403 人		(6) その他 0 校 0 人	
	計 14,304 校 3,345,460 人		計 114 校・園 29,629 人	
	指 導 者 274,847 人		※一貫教育校は中学校・高等学校の2校種でカウント	
15 社会福祉事業	(1) 乳児院 8 ( 定員 282 人)		神奈川県ライトセンター(視覚障害者支援施設)	
	(2) 保育所 3 ( 定員 329 人)		(神奈川県指定管理者制度に基づき日本赤十字社が運営)	
	(3) 児童養護施設 1 ( 定員 40 人)		① 情報提供事業	
	(4) 医療型障害児入所施設 3 ( 定員 284 人)		② 指導訓練事業	
	(5) 特別養護老人ホーム <sup>※</sup> (併設ケアハウス20人を含む) 8 ( 定員 773 人)		③ スポーツ振興事業	
	(6) 障害者支援施設 1 ( 定員 50 人)		④ ボランティア育成事業	
	(7) 視覚障害者情報提供施設 2		⑤ 普及啓発事業	
	(8) 補装具製作施設 1			
	(9)複合型施設 1			
	特別養護老人ホーム ( 定員 110 人)			
	介護老人保健施設 ( 定員 100 人)			
	高齢者グループホーム ( 定員 18 人)			
	障害者支援施設 ( 定員 10 人)			
16 施設・職員数	区分 施設数 職員数		日本赤十字社神奈川県支部	37 人
	本社 1 562 人		横浜市立みなと赤十字病院	1,293 人
	支部 47 705 人		秦野赤十字病院	438 人
	医療施設 114 59,881 人		相模原赤十字病院	271 人
	血液事業施設 226 5,758 人		神奈川県赤十字血液センター	410 人
	社会福祉施設 28 1,209 人		神奈川県ライトセンター	47 人
	計 416 68,115 人		計 2,496 人	
	(正規職員のみ)			
17 会計	(1) 一般会計(支出) ①本社 247 億 0 千万円		(1) 一般会計(支出)	
	支部 578 億 3 千万円		日本赤十字社神奈川県支部	10億6,344万3,925 円
	(2) 医療施設特別会計(支出) 1兆2,408 億 0 千万円		(2) 医療施設特別会計(収益的支出)	
	(3) 血液事業特別会計(支出) 1,625 億 2 千万円		横浜市立みなと赤十字病院	232億5,958万0,820 円
	(4) 社会福祉施設特別会計(支出) 167 億 8 千万円		秦野赤十字病院	69億3,592万5,861 円
	(5) 退職給与資金特別会計 309 億 8 千万円		相模原赤十字病院	33億2,717万6,057 円
	(6) 退職年金資金特別会計 3 億 9 千万円		(小計)	335億2,268万2,738 円
	(7) 損害補填資金特別会計 2 億 5 千万円		(3) 社会福祉施設特別会計(支出)	
	(令和6年度決算)		神奈川県ライトセンター	3億3,572万3,485 円
			(令和6年度決算)	

(特に断りのない統計数字等は、令和7年4月1日現在・令和6年度実績)